

業種名	前年同月比				業種名	前年同月比					
	売上受注	取引条件	収益状況	業界の景況		売上受注	取引条件	収益状況	業界の景況		
食料品製造業	漬物	→	→	→	→	卸売業	肥料	↓	→	↓	→
	醤油・味噌	→	→	→	→		◎卸団地(津)	→	→	→	→
	豆腐	→	→	↓	↓		◎商業(鳥羽)	↓	→	→	→
	麺	→	→	→	↓		◎青果(松阪)	→	↓	↓	↓
繊維製品製造業	◎組紐(伊賀)	→	→	→	↓	小売業	自転車	↓	↓	↓	↓
	衣料縫製	→	→	→	→		家電	↓	→	↓	↓
	テントシート	↓	→	→	↓		石油	↓	→	↓	↓
木材・木製品	↓	↓	↓	↓	スポーツ用品		↓	→	↓	→	
紙・紙加工品	段ボール箱	↓	→	→	→	商店街	◎熊野市	↑	→	↑	→
	古紙	↓	→	↓	↓		自動車整備	↓	→	↓	↓
印刷	→	→	→	→	サービス業	宿泊施設	↓	→	↓	↓	
窯業・土石製品	生コンクリート	↓	→	→		→	旅行業	↓	→	↓	→
	◎陶磁器Ⅰ(萬古焼)	→	→	→		→	◎飲食業	↓	→	→	→
	◎陶磁器Ⅱ(伊賀焼)	↓	→	→		→	警備業	↓	→	↓	→
金属・一般機器・電気機器・輸送機器	鍍金	↓	→	→	↓	建設業	総合工事業	↓	→	→	→
	◎機械器具(四日市)	→	→	↓	→		内装工事業	↑	→	↑	↑
	◎機械器具(久居)	→	→	→	→		電気工事業	→	→	→	→
	◎機械器具(伊勢)	→	→	↓	↓		◎水道工事業(四日市)	→	↓	→	→
	◎電気機器(鳥羽)	↓	↓	↓	↓	運輸	トラック輸送	→	→	↓	→
	◎輸送機器(鈴鹿)	↓	→	↓	→		◎不動産(鈴鹿亀山)	→	→	→	→

↑…増加・上昇・好転 →…変わらず ↓…減少・下落・悪化 ◎…地域単位の組合

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	食料品	豆腐	燃料費、電気代、原材料（大豆）が昨年に比べて割高である。加えて、8月1日より豆腐パックが値上げされたため収益が悪化している。
		麺	特に、最近では原材料（重油・ガソリン等）の原価が上昇しているが、価格転嫁が出来ていない。伊勢うどんに関してはイベントを行い、県外のお客様に知っていただけるよう取り組んでいる。まだまだ全体では厳しい状況が続いているが、組合等でイベントに参加して活気を出せるよう取り組んでいきたい。
	繊維工業	テントシート	組合員の業況に関して、ほとんどが「あまり良くない」「良くない」といった感じであり、盛況であるというような声は聞こえない。
	木材・木製品	木材	4月以降、消費増税の反動が続いている。
	紙・紙加工品	紙器段ボール箱	ユーザーの長い盆休みの為、稼働日が少なく生産量が減少気味であり、また、台風・大雨の影響で、青果物等の段ボールケースの生産が少しマイナスであった。
		古紙	8月期の仕入高は、前年比段ボールは約94%（増減5%前後）、新聞・チラシは約92%（増減6%前後）、雑誌等その他合わせて約93%（増減6%前後）といった中での推移である。古紙の集荷量は天候不順もあり集荷減の様相である。スーパーやコンビニ、飲食店が近所にできて地元古紙業者に古紙が入らず、本社契約の管理会社から仕事を発注する機会が多々あることも集荷減の要因となっている。なお、同業者や多業種で取引先の出店攻勢や古紙の集荷で物量が前年より増えたところもある。人件費の上昇と厚生年金等々の負担、エネルギーコストの上昇など益々増える経費負担を担うには確実な収益性が必須であるが難しく、確実に変化していく経営環境には人材確保と経費負担が不可欠であることも大変難しい問題となっている。
	印刷	印刷	現在、組合で三重県民手帳の製作を行っている。本年11月発売に向けて、青年部が中心になり県の担当者との情報収集及び校正を進めている。印刷業に関わるものとして地域貢献につながるものと考え、三重県と協力して進めている。
	窯業・土石製品	伊賀焼	伊賀焼伝統産業会館及び伊賀信楽古陶館とも売上は前年同月と比べ、僅かな減少に留まった。入館者数については、伝統産業会館が76人増で古陶館は昨年並みとなった。8月になって業況が少し持ち直した。原因としては、気温の関係が考えられる。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は、自動車関連部品、ガス関連、建築と7月同様横ばい状態であるが、家電関連の生産量は前月と比べ更に減少した。半導体関連は若干増加傾向にある。その他の製品に関しては使用用途にもよるが、若干の減少傾向にある。
	一般機器	四日市	日銀や政府は我が国経済の状況を強気に判断して楽観視しているようだが、この一か月間では景気の鈍化がみられ、円安の効果も限界で輸出も伸び悩んでいる。利益の確保がいまの企業が多いと聞く。
	一般機器	久居	8月度は例年の夏期休暇等により、稼働日数も少なく売上が減少した。
	電気機器	鳥羽	昨年の同時期に比べても低迷しており、受注価格も一段と厳しい。下期の業況に期待している。
	輸送機器	鈴鹿	自動車関連の事業でも機械化が出来ず、人手に頼らざるを得ない「バリ取り」や「バフ掛け」などの工程での人員不足が深刻である。これらの工程は一次・二次の下請けから外注された小規模な事業者が多くを担ってきたが、作業単価が安く利益が出ないため撤退する事業者が多く、生き残っている事業者でも作業員への成り手が減っている。
	卸売業	肥料	8月の長雨のため、秋冬作の作付が出来ないので、元肥の出荷が遅れている。
		津	業種により違いはあるが、仕事があっても作業員（下請け）不足、賃金高騰により受注できないケースが増えている。
小売業	青果	野菜全般は順調に生育し、価格も安定した。なお、お盆前からの台風11号の影響による集中豪雨と長雨による日照不足のため、特に夏野菜の産地である岐阜県産の夏野菜の被害が甚大で入荷が少なく、高値が続くようである。果物は上旬は順調に入荷し、特に贈答用にハウスみかんの人気が高かった。中旬からは悪天候による長雨と日照不足のため、入荷が少なくなっていたが、下旬には青切みかんやサンツがるが入荷した。	

非製造業	小売業	自転車	天候にも左右されやすいこの業界において、上旬の猛暑、中旬の長期お盆休み、その後の台風等で殆ど仕事が無いのが現状である。組合事業では近年、自転車の関与する交通事故で相手方からの高額な損害賠償請求の判例も多く、有識者からも今のままでは補償額が少なすぎるとの指摘があった。また、自転車安全整備店及びユーザーの方々からも補償限度額の引き上げについての意見や要望もあり、こうしたことからTSマーク付帯保険の見直しを日本交通管理技術協会と共に協議検討し、この秋にも実施の予定で進んでいる。
		家電	8月は前半はまずまずだったが、盆以降台風の影響もあり天候不順が続き、販売が大きく落ち込んだ。特にエアコンの落ち込みが大きかった。また、太陽光発電システムも産業用は各地で伸長しているが、一般家庭用は前年を大きく割り込んだ。パネルの価格も2～3年前に比べて半分位で売上が上がらなくなってきており、家電全体でも前年比80～85%で推移した。
		石油	8月度については、石油販売業界に関わらず、販売業界全体にとって夏商戦は散々な結果に終わったと思われる。特に石油販売状況において、8月の盆期間における販売数量の年対比15%から17%の減販であり、特に観光地への台風11号や各地を襲った豪雨の影響により観光が妨げられた要因によるものである。8月全体に見ても、燃料油販売数量は前年対比10%前後の減販であり、9月商戦に向けて再度燃料販売の増販と油外商品の販売を強化して収益の改善を図りたい。
		スポーツ用品	組合員の状況は他府県含めて非常に悪い。長雨でスポーツの活動が出来ず、7月8月は近年にない状況であるので、早く秋晴れの日が続くことを願っている。ただ、三重高野球部の活躍が明るい材料であった。
	商店街	熊野	毎年開催の和太鼓イベントは雨に見舞われ、商店街内の市民会館で開催した。物産展については従来通り屋外開催となったが、やはり分断された形での同時開催となり、集客は例年の半分以下となった。また、熊野大花火大会に合わせた郷土物産展は例年とあまり変わらない売り上げがあった。ただ、全体的な来場者数は雨の影響もあり、昨年より3万人少ない17万人にとどまった。
	サービス業	旅館	伊勢神宮の式年遷宮の白石持ち行事へ参加する団体客や、様々なメディアからの発信による個人客と近年にない活況を呈していた前年と比較すれば、大幅な減少となる。一昨年と比較した場合、今年8月の異常気象と足の遅い台風によるキャンセルの発生も影響して、やや減少となったようである。
		飲食業	日本政策金融公庫国民生活事業部の実施した、外食に関する消費者意識調査結果を見ると、消費者が飲食店を選ぶ際は、時間を重視し、価格面、接客面のほかメニューの豊富さや禁煙・分煙の実施状況が上位に挙がっている。また、外食の情報源は口コミ・情報サイトなど、インターネット上の情報を合わせて活用していた。特に、女性は男性に比べ「口コミ」「フリーペーパー」の割合が高くなっていた。
		警備業	8月は台風や盆休みがあり、稼働日が減少した。
	建設業	内装工事業	毎年8月は盆休みもあり仕事は減少するが、本年は対前年度比較で捉えれば、売上は倍近く伸びている。秋以降どのように推移していくかはまだ分からない。台風11号により、組合員の中で大きな被害にあったところはない。
	運輸業	トラック	燃料の価格は若干の値下がりがあるものの、引き続き高騰状態にあり経営を圧迫している。

### 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
製造業	四日市	国の施策（景気対策）は抜本的なものが少ない。中小企業の多くは自助努力で頑張っている。
	伊勢	電力料金の経営に与える影響が看過できない状況となっている。4月の電気料金値上げは仕方ないとして、燃料費調整額と再エネ発電促進賦課金の上昇により、節電しても焼け石に水のような状況で、収益の大きな圧迫要因となっている。
サービス業	旅館	大企業や首都圏の好況が、中小企業及び地方へ早く波及することを願っている。特に我々サービス業へは、いつもタイムラグがあることは承知しているが、早期の波及効果を期待している。
運輸業	トラック	燃料価格引き下げの為の施策を講じて欲しい。